

# 第41回東伏見スポーツサイエンス研究会

日時 2017年6月28日(水) **17:00**より

場所 早稲田大学79号館(STEP22)302号室

## 演題

### 「野球移民」を生み出す人びと

—ドミニカ共和国とアメリカにまたがる扶養義務のネットワーク—

窪田 暁 先生

(奈良県立大学地域創造学部)

■1990年代以降、欧米のプロ・スポーツ界を中心にアフリカ、中南米出身の外国人選手の活躍が目立つようになった。アメリカのメジャーリーグ・ベースボール (MLB) においても、ラテンアメリカ出身の選手が増加するようになったが、なかでもドミニカ共和国 (以下、ドミニカ) 出身選手の数は突出している。その背景には、急速に拡大するグローバル化の影響があり、プロ・スポーツ界が安価な人材を発展途上国に求めはじめたことがある。しかしながら、これまで、彼らを送り出す社会の側に軸足をおいて、その発生要因を出身社会の文化との関わりから検討されることはなかった。

本発表の目的は、ドミニカからアメリカに渡る野球選手 (「野球移民」) の存在に注目し、彼らの移住経験をとおして浮かびあがる「母親中心家族」を起点とする扶養義務のネットワークの存在を、「野球移民」と送り出し社会の人びとの相互交渉に着目して明らかにすることである。



【参考図書】

窪田暁(2016)

『「野球移民」を生み出す人びと』



早稲田大学 スポーツ科学学術院  
Faculty of Sport Sciences, Waseda University

世話人: 正木宏明・小木曾航平  
早稲田大学 スポーツ科学学術院  
E-mail: kogisok@aoni.waseda.jp